

## 世界 LNG 動向 2020 年 10 月

橋本裕\*

### はじめに

貿易統計によれば、2020 年 9 月の日本の LNG 輸入量が 650 万トンと、6 月に続き、前年同月比増加となった。2020 年 1-9 月累計で 5478 万トンと、前年同期比 5.47%減となった。9 月分の価格は 100 万 Btu 当たり 5.51 米ドルと、2005 年 1 月以来の低水準となった。韓国は 5.10 米ドル、中国は 5.06 米ドル、台湾は 4.86 米ドルだった。

日本向け 5 米ドル未満のカーゴ数は、4 月の 2 件、5 月 3 件、6 月 10 件、7 月 9 件、8 月 31 件に対して、9 月 47 件だった。複数カーゴを供給した供給源別では、カタール産 LNG 合計 63 万トンの持ち届け価格加重平均が 4.31 米ドルと、8 月の 4.84 米ドルに続き、供給源別加重平均では最安値となった。カタールを含む中東産、東南アジア産、ロシア産がそれぞれ 5 米ドル前後に対して、米国産が 8 米ドル前後と、独歩高の印象である。

長期契約を中心とする北東アジア向けの LNG 価格が恐らくは 9 月分が当面の最低水準となったが、一方で北東アジア向けのスポット LNG アセスメント価格を含む、世界各地のスポットガス価格は、第 3 四半期以降、盛り返しており、10 月下旬までには、近月引き渡し分について、北東アジア LNG について 7 ドル台、欧州について 5 ドル近辺と、コロナ危機前の、前年同期の水準、あるいはそれ以上まで回復している。

2020 年はこれまでのところ、LNG 液化設備への最終投資決定 (FID) は発表されていないが、いくつかの LNG プロジェクトでは、より環境に配慮した LNG 開発を進める姿勢を明らかにしている。カタールのエネルギー大臣は、2020 年 10 月の LNG 産消会議で、メガトレイン拡張プロジェクトにおいて、CCS、太陽光発電を基本設計に織り込む計画であることを明らかにした。

### [アジア太平洋]

JERA は、「知多火力発電所 7, 8 号機建設計画 計画段階環境配慮書」を、経済産業省、地方自治体に提出した。計画は、既設 6 号機を除き 1 - 5 号機の廃止と、7, 8 号機を新設する。最新の高効率コンバインドサイクル発電方式 (発電端熱効率約 63%) を採用する。

JERA は、「JERA ゼロエミッション 2050」を掲げることを 2020 年 10 月 13 日、明らかにした。国内事業においてこれを実現していくためのロードマップを策定するとともに、2030 年時点での新たな環境目標も制定した。このロードマップでは、2030 年までに保有

---

\* 化石エネルギー・国際協力ユニット ガスグループ

する全ての非効率な石炭火力発電所（超臨界以下）を停廃止することや、火力発電所における化石燃料とアンモニアや水素の混焼と、その混焼率を徐々に引き上げていくことなどを柱としている。洋上風力を中心とした再生可能エネルギー開発を促進し、LNG 火力発電のさらなる高効率化にも努めるとしている。政府が示す 2030 年度の長期エネルギー需給見通しに基づく、国全体の火力発電からの排出原単位と比べて 20%減を実現するとしている。

株式会社ニュー・オータニと、東京ガスは、カーボンニュートラル都市ガスの供給に関する基本合意書を締結し、2020 年 10 月 1 日からホテルニューオータニ（東京）のガスコージェネレーションシステムで使用する都市ガスを、カーボンニュートラル都市ガスに切り替えた。

EDF Trading は、日本の電力市場に参入、その前週 EEX で取引を行ったことを、2020 年 10 月 14 日、発表した。

2020 年 10 月 20 日、セントラル LNG シッピング株式会社が保有する LNG バンカリング船「かぐや」が、新来島豊橋造船の建造岸壁において、日本郵船の自動車運搬専用船「SAKURA LEADER」向けに、日本初となる Ship to Ship 方式による LNG 燃料の供給を行った。LNG 燃料は JERA の川越火力発電所にて積み込みされたもの。「かぐや」は、日本国内で稼動する初めての LNG バンカリング船になる。10 月 28 日、SAKURA LEADER が、新来島豊橋造船で竣工し、日本郵船へ引き渡された。国内造船所で建造される初の大型 LNG 燃料船。

三菱商事、エア・ウォーター株式会社は、LNG を燃料とする大型トラック向けに、物流施設内の限られたスペースに設置可能な小型 LNG 充填設備を共同開発したことを明らかにした。

Keppel Offshore & Marine、Shell Eastern Petroleum 間の合弁事業 FueLNG は、シンガポール初の LNG バンカリング船（LBV） FueLNG Bellina 命名式を行った。2020 年末までに、中国の Keppel Nantong Shipyard 造船所からシンガポールに到着する予定である。

シンガポール海事港湾庁（MPA）は、シンガポール港で LNG バンカリング供給を希望する企業グループ向けに提案依頼書（RFP）の発行手続きを開始した。MPA は、2021 年 2 月までに新規 LNG バンカーサプライヤーライセンスの授与を発表する予定。

シンガポール Pavilion Energy、フィンランド Gasum は、シンガポール、およびアムステルダム・ロッテルダム・アントワープなど北部欧州での顧客向けのグローバル LNG バンカー供給ネットワーク構築に向け、覚書（MOU）を締結したことを明らかにした。

Keppel Corporation は、Keppel Data Centres Holding Pte Ltd（Keppel DC）、City Gas、City-OG Gas Energy Services（City-OG）が、Keppel DC のシンガポールの現在検討中の浮体式データセンターパーク（FDCP）の電源として LNG、水素を使うことを検討する覚書（MOU）を締結したことを、2020 年 10 月 26 日、発表した。

JERA は、ExxonMobil、ベトナム北部ハイフォン市との間で、同市における LNG バリチェーンプロジェクトに関する協業について定めた覚書を締結した、と 2020 年 10 月

28 日、発表した。

東京ガスは、2020 年 10 月 6 日、フィリピン共和国のファーストジェン社 (FGEN) と相互協力契約を締結した。最速で 2022 年後半の LNG 導入を目標に、FSRU を活用できる浮体式 LNG 基地の建設を進める。フィリピン First Gen Corporation は、完全子会社 FGEN LNG Corporation が First Philippine Industrial Park で小規模 LNG (ssLNG) 方式の開発を検討している、と 10 月 30 日述べた。

New Fortress Energy (NFE) は、フィリピン Philippine National Oil Company (PNOC) との間で、同国の発電・LNG インフラストラクチャー開発に向け、基本合意 (MOU) を締結したことを、2020 年 10 月 15 日、発表した。

中国の国家石油天然气管網集団 (PipeChina) は、パイプライン網、LNG 基地に関して、第三者利用に供する容量、料金を、2020 年 10 月 10 日、公表した。11 月、12 月、6 基地、北海、天津、深圳迭福、防城港、粤东、海南洋浦基地についてオファーしている。

Total は、自社初のカーボンニュートラル LNG カーゴを、中国海洋石油 (CNOOC) に 2020 年 9 月 29 日に引き渡したことを 10 月 20 日発表した。このカーゴは豪州 Ichthys 設備からのもので、大鵬基地に引き渡された。

中国海洋石油有限公司 (CNOOC) は、流花 29-1 ガス田が生産開始したことを、2020 年 11 月 2 日、発表した。CNOOC は流花 29-1 ガス田の 25%を有し、浅海部のオペレーターであり、Husky Oil China Limited は残り 75%を持ち、深海部のオペレーターとなっている。

上海石油天然気交易中心 (SHPGX) は、2020 年 11 月 2 日、初の国際 LNG 入札取引を実施した。CNOOC が 2021 年 3 月引き渡し予定で、65,000 トンの LNG を、Aramco Trading Singapore から購入することとなる。

地元の報道によると、2020 年 11 月 2 日、广西北海 LNG 受入基地火災で、6 人が死亡、3 人が重傷を負った。

Rolls-Royce は、インド Dhamra LNG Terminal (DLTPL) と、同国東部オディッシャ州 LNG 基地向けに 29 MW ガス火力発電設備を供給する契約を締結したことを、2020 年 10 月 6 日、明らかにした。

パキスタン Pakistan LNG は、自社、Karachi Electric が、900 MW BQPS-III 発電設備向け LNG 気化ガス供給に関して、基本合意 (HOA) を締結したことを、2020 年 10 月 8 日、明らかにした。同発電設備は 2 基構成で、2021 年 3 月、同 11 月にそれぞれ稼働開始予定である。

豪連邦産業・科学・エネルギー・資源省は、COVID-19 景気後退からの回復の一環として、エネルギーを国内世帯・事業者に利用できるものとする、雇用支援のための計画の一環としての国内ガス留保策の選択肢を検討していることを、2020 年 10 月 27 日、発表した。

豪 Cooper Energy は、自国初のカーボンニュートラルガス生産企業となったことを 2020 年 10 月 12 日、発表した。

豪 Port Kembla Gas Terminal Project プロジェクト開発企業 Australian Industrial Energy Pty Ltd (AIE) は、Squadron Energy が JERA の 19.9% 持分、丸紅の 30.1% 持分を引き取り、100% 所有となったことを発表した。

豪 Santos は、Moomba CCS プロジェクトのための最終実地試験の一環として、Cooper Basin の Strzelecki ガス田枯渇ガス資源層に、二酸化炭素 100 トンを注入した、と 2020 年 10 月 22 日、発表した。同社は、年間 170 万トンの同プロジェクトに関して、2020 年末までに最終投資決定 (FID) に至るため、技術面・コマーシャル面の手配を固める。

豪連邦政府は、ピルバラ地方 Asian Renewable Energy Hub (AREH) 計画に、重要プロジェクトの位置付けを認定したことを 2020 年 10 月 23 日、発表した。AREH は「世界最大」26 GW グリーン電力、水素、アンモニア、メタノール製造設備となる。年間 1000 万トン近くのゼロ排出燃料を輸出用に生産することとなる。

Shell は、豪 Prelude FLNG 設備から生産の本格再開が年末までに見込まれていないことを、2020 年 10 月 15 日、明らかにした。同社は、同年第 3 四半期、16.36 億米ドルの減損を計上したが、主として Prelude 浮体 LNG 関連 (税引前 13.27 億米ドル) だった、と述べた。

## [北米]

米連邦エネルギー省 (DOE) は、長期 LNG 輸出承認 10 件の期間を 2050 年まで延長した、と 2020 年 10 月末、発表した。対象は: Venture Global Calcasieu Pass, LLC; Venture Global Plaquemines LNG, LLC; Rio Grande LNG, LLC; Dominion Energy Cove Point LNG, LP; Corpus Christi Liquefaction Stage III, LLC; Freeport 各社 - Freeport LNG Expansion, L.P., FLNG Liquefaction, LLC, FLNG Liquefaction 2, LLC, FLNG Liquefaction 3, LLC, FLNG Liquefaction 4, LLC, Cheniere Energy のルイジアナ州 Sabine Pass、テキサス州 Corpus Christi LNG、Sempra Energy がテキサス州で計画している Port Arthur LNG プロジェクトである。

DOE 天然ガスマ月報によると、2020 年 8 月、米国のドライ天然ガス生産は、4 ヶ月連続で前年同月比減となった。8 月分は速報値で 2.801 兆立方フィート、または日量 904 億立方フィートで、前年同月比日量 45 億立方フィート (-4.7%) 減となった。DOE は、10 月 16 日に、8 月の LNG 輸出実績を発表したが、前年同月比 20% 減の 229 万トンだった。

Cheniere Energy は 2020 年第 3 四半期、4.63 億米ドルの損失を計上した。2020 年 9 月までの 3 ヶ月間・9 ヶ月間に、顧客が引き渡しを受けないことを同社に通知した LNG カーゴ関連で、それぞれ 1.71 億米ドル、9.32 億米ドルの収入を得た。Corpus Christi 第 3 系列、Sabine Pass 第 6 系列はそれぞれ 2021 年第 1 四半期、2022 年下半期に実質完成が見込まれる。

2020 年 11 月 3 日、日本郵船 (NYK) と三菱商事が共同保有する新造 LNG 運搬船 Diamond Gas Metropolis が現代三湖重工業 (韓国) にて竣工した。Cameron LNG プロジェクトの

LNG 輸送などに従事する。燃料油とボイルオフガスを利用する二元燃料低速ディーゼル機関「X-DF エンジン」や余剰ボイルオフガスの再液化装置を搭載している。容量 174,000 m<sup>3</sup> のメムブレン型で、優れた防熱性能をもつタンク方式を採用している。

NextDecade Corporation は、Rio Grande LNG 設備計画で、排出量を二酸化炭素換算 (CO<sub>2</sub>e) 90%削減する実証技術済みを用いての独自プロセスを開発したことを 2020 年 10 月 6 日、発表した。

米 Delfin Midstream は、Delfin LNG プロジェクト向けに、サムスン重工業 (SHI)、Black & Veatch と協力し、年間 350 万トン容量の新造 FLNG 船舶の FEED 完成を、2020 年 10 月 11 日、発表した。同社は、年間トン当たり 550 米ドルの資本費で同プロジェクトを実施できる、と述べた。Delfin 新造 FLNG 船舶設計は、最新ガスタービン技術、Black & Veatch 特許 PRICO® 液化技術、直接空冷方式、廃熱回収を用い、最大の燃費、最小 GHG 排出を実現するとしている。

米 Pilot LNG は、GAC Bunker Fuels との間で、地域内の最初の専用 LNG バンカー基地となる自社の計画中的 Galveston LNG Bunker Port 基地プロジェクトから海洋燃料として LNG を供給するため、パートナーシップ条件基本合意 (HOA) を締結した。

Wärtsilä は、Harvey Gulf の LNG 燃料のプラットフォーム向け作業船舶 (PSVs) 4 隻の改造用に、先進型蓄電システム (ESS) を供給することを、2020 年 10 月 19 日、発表した。

Eagle LNG Partners は、西インド諸島バーブーダ Barbuda Ocean Club との間で、発電の天然ガス転換に向け長期契約を締結したことを 2020 年 10 月 26 日、発表した。

EQT Corporation は、Chevron との間で、同社の Appalachian 地域上流・中流資産を買い取る売買契約を締結したことを、2020 年 10 月 27 日、明らかにした。この取引は同年第 4 四半期末、完了見込みである。

Gitga'at Waiward Industrial は、LNG Canada プロジェクトの EPC (エンジニアリング・調達・建設請負者 JGC Fluor より、現場組み立て構造鋼材供給契約を獲得したことを、2020 年 10 月 23 日、発表した。

カナダの Woodfibre LNG Limited は、Woodfibre LNG プロジェクトの実質開始期限を 5 年延長する許可を受けた、とブリティッシュコロンビア州環境評価部門が 2020 年 10 月 26 日に発表した。新たな期限は 2025 年 10 月 26 日となる。

Naturgy、プエルトリコ Puerto Rico Electric Power Authority (PREPA) は、2020 年 10 月 22 日、プエルトリコ向け LNG 長期供給契約を 2032 年まで延長することに合意した。対象数量は年間 20 億 m<sup>3</sup>、需要次第で 30 億 m<sup>3</sup>まで増量可能で、価格は完全にヘンリーハブ連動である。従来の契約は 2020 年 10 月満了予定だった。その数量は年間 15 億 m<sup>3</sup>、価格指標は石油 (50%)、ヘンリーハブ (50%) だった。

## 【中東】

bp は、オマーン Ghazeer ガス田生産を、予定よりも先行して開始したことを、2020 年 10 月 12 日、発表した。フレアリング削減技術により、生産井試験期間中の排出を削減できた、と述べた。

Chevron は、Noble Energy 買収が、同社株主総会承認により、完了したことを 2020 年 10 月 5 日（月）発表した。

## 【アフリカ】

アルジェリア Sonatrach、スペイン Naturgy は、両社間のガス売買契約修正を締結した。両社は、アルジェリア・スペイン間のガスパイプラインを運営する Medgaz の 51%、49% 株主である。

bp は、エジプト沖 North Damietta 鉦区 Qattameya ガス田生産開始を 2020 年 10 月 26 日発表した。自社 Pharaonic Petroleum Company (PhPC) 合弁事業を通じて、日量 5000 万立方フィート生産見込みの同ガス田は、海底井 1 本で既存インフラストラクチャーに接続する方式で開発された。

Golar LNG Limited は、子会社 Gimi MS Corporation が、BP Mauritania Investments Limited との間で Greater Tortue Ahmeyim プロジェクトの日程変更に関して確認したことを 2020 年 10 月 1 日、発表した。改造浮体 LNG 生産船舶 Gimi の目標接続日程が、従来予定の 2022 年から、11 ヶ月間延長される。

南アフリカ DNG Energy は、港湾当局より、イースタンケープ州 Coega 港湾で LNG バンキングを提供する承認を受けたことを、2020 年 10 月 12 日、明らかにした。

Qatar Petroleum (QP) は、南アフリカ南海岸から 175 km 離れた Outeniqua 盆地 11B / 12B 鉦区、Luiperd 地点にガス/コンデンセートを発見した、と発表した。同鉦区で 2 件目の大規模発見となる。オペレーター Total (45%)、QP (25%)、CNR International (20%)、MainStreet (10%) によって運営されている。

## 【欧州・ロシア】

欧州委員会 (EC) は、メタン排出削減に向けた EU 戦略を 2020 年 10 月 14 日、公表した。EU 域内のメタン排出削減および EU に結び着く供給チェーンに伴うメタン排出への対処、両方に焦点を置く。自主的・事業者主導の対策を促しつつ、EU 法案は 2021 年に計画されている。EC はまた、エネルギー部門での日常的ベンディング、フレアリング排除の法制化、域外相手国のメタン排出への実質コミットメントがない場合、EU で消費・輸入される化石エネルギーについてメタン排出目標・基準・その他インセンティブを検討する。

英 National Grid の Grain LNG、カタール Qatar Petroleum (QP) 子会社 Qatar Terminal Limited (QTL) は、後者に 2025 年半ばより Grain LNG 基地にて、貯蔵・再引き渡し容量を提供する 25 年間契約を発表した。本契約は、2019 年 11 月開始した Grain

LNG の競売型オープンシーズン手続きの結果である。

2020 年 10 月 22 日、日本郵船は仏船舶管理会社 **Gazocean** の全株式を **TOTAL** から取得し、完全子会社化した。**Gazocean** はフランス・マルセイユで LNG 船 6 隻の船舶管理を行っており、従来 **TOTAL** が 80%、日本郵船が 20%を出資していた。

**Total** は、**Aframax** 型 LNG 推進方式の船舶 4 隻を備船することを 2020 年 10 月 28 日発表した。容量は各 110,000 トンの原油または石油製品で、2023 年引き渡し予定。2 隻は **Hafnia**、2 隻は **Viken Shipping** から備船される。LNG は **Total Marine Fuels Global Solutions** が供給する。

スペイン **HAM Group** は、**Enagás** の **Barcelona** 基地および **Bahía Bizkaia** 基地での冬季タンク積み込み容量の不足を予想し、スペイン顧客の不足を回避するため、フランスのマルセイユ基地での LNG 契約を締結したことを 2020 年 10 月 7 日、明らかにした。

**Wärtsilä** は、ドイツのコロンで容量年間 100,000 トンのカーボンニュートラル LNG を生産するため、ガス輸送網からのガスを液化する設備の建設契約を獲得したことを 2020 年 10 月 8 日、発表した。このバイオ LNG 原料は、液肥、食品廃棄物等、有機廃棄物となる。これを消化精製し、バイオメタン化して天然ガス網に注入する。液化設備は 2022 年秋までに稼働開始見込みである。

ノルウェー **Equinor** は、2020 年 9 月 28 日 **Hammerfest** LNG 設備火災後の調査結果によれば、同設備は修繕のため、最長 2021 年 10 月 1 日まで停止することが示唆される、と 2020 年 10 月 26 日発表した。

イタリア **Edison**、スペイン **Enagás** は、前者および後者子会社 **Scale Gas Solutions** が、後者を **Depositi Italiani GNL (DIG)** の新たな株主とする取引を締結したことを、2020 年 10 月 23 日、発表した。両社は、地中海における小規模 LNG 開発で協力し、**Enagás** の LNG 諸基地より、**Edison** 顧客への強固な LNG 供給チェーン構築を促進することに合意した。**Scale Gas Solutions** は、**Edison** より、2018 年 **Edison・PIR** がイタリア沿岸の最初の設備の開発・運営のため設立した新会社 **Depositi Italiani GNL 株式** の 19%を取得する。持株構成は 51% **PIR**、30% **Edison**、19% **Scale Gas Solutions** となる。**Ravenna** 設備の建設は 70%を超えており、2021 年 10 月本格稼働を確認できている。**Ravenna** 設備は LNG 貯蔵容量 20,000 m<sup>3</sup>、年間取扱量 100 万 m<sup>3</sup>超を見込んでいる。

イタリア **Snam・First Sentier Investors** 傘下でリヴォルノ、ピサ間の沖合 "**FSRU Toscana**" 基地を運営する **OLT Offshore LNG Toscana** は、自社に小規模 LNG 輸送船舶向けに LNG 積み込みを承認する指令を、自国経済省が発行した、と 2020 年 10 月 23 日、明らかにした。

**Costa Cruises** は、イタリアで初の LNG バンカリングを、当局、**Shell** の支援を受け、**Costa Smeralda** 向けに実施したことを、2020 年 10 月 26 日、明らかにした。

ポーランド **PGNiG** は、トレーディング子会社と、デンマーク **Ørsted** が天然ガス 70 TWh (64 億 m<sup>3</sup>) を、2023 年 1 月 1 日から 2028 年 10 月 1 日の間に供給する複数年契約

を締結したことを発表した。

トルコは、自国北西部 Gallipoli 半島北部の Saros Bay に 3 基目の浮体貯蔵・気化機器 (FSRU) を加える計画である、とエネルギー・天然資源次官が 2020 年 10 月 8 日 (木) 明らかにした。

ロシア Gazprom はモスクワで 2 件の新規天然ガス充填ステーションの開業を 2020 年 10 月 27 日、発表した。モスクワおよび近隣の Gazprom ガス充填ステーション数は 7 件に増加した。この内 2 件は設計容量年間 2980 万 m<sup>3</sup> で欧州最大級であると述べた。Mosgortans (モスクワ市公共交通機関)、Ecotechprom (家庭廃棄物処理) が天然ガスの主消費者となる。

Gazprom は、ヤマルガス生産地域 Leningradskoye ガス田で新たな鉱床が発見されたことを、10 月 8 日、発表した。過去 2 年間でカラ海ヤマル半島棚にて Gazprom による 4 件目の大型資源発見となる。

米商務省は、Nord Stream 2 パイプラインプロジェクトを標的とする制裁範囲を拡大したことを 2020 年 10 月 20 日、発表した。

商船三井と中国遠洋海運集团有限公司 (China COSCO Shipping) の合弁会社が共同発注した LNG 船の命名式が、2020 年 10 月 20 日に中国・上海の滬東中華造船(集団) 有限公司 (Hudong) で行われたことを、21 日、商船三井が発表した。本船は、ロシア・ヤマル LNG プロジェクト向け在来型 LNG 船 4 隻の最終船である。

商船三井 (MOL) は、2020 年 10 月 28 日、NOVATEK を筆頭株主とするプロジェクト会社 ARCTIC LNG 2 社と、ロシア Arctic LNG 2 プロジェクト向け輸送に参画することを合意し、新造砕氷 LNG 船 3 隻の定期傭船契約を締結したことを同 11 月 2 日、発表した。大宇造船海洋株式会社 (DSME) にて建造され、2023 年に順次竣工する予定である。本船は、主にロシア北極圏・ギダン半島の LNG 出荷設備から、北極海航路を經由して、カムチャッカ (東回り) やムルマンスク (西回り) に積替基地として設置される FSU (浮体式 LNG 貯蔵設備) までの輸送に従事する予定である。本船は、氷が薄い夏季にのみ東回りで北極海を航行できた当社従来の砕氷 LNG 船と比較して、船幅が細く、砕氷性能を強化した新船型を導入しており、推進機関出力を強化した仕様により、夏季に限らず冬季においても北極海航路の中でも氷が厚くなる東側を航行することが可能となるとしている。

Gazprom は、ヤクーチャ Chayandinskoye ガス田で生産容量拡張が進展していること、イルクーツク Kovyktinskoye ガス田で生産掘削が行われていることを 2020 年 10 月 28 日、明らかにした。Amur ガス処理設備では最初の 2 生産系列のコミッショニング作業が進行中である。

## [南米]

パナマ運河当局が、10 月 8 日に、9 月までの年度の通航実績を発表、LNG は 1307 万トンから 1435 万トン、LPG は 1966 万トンから 2428 万トンに増加した。



EXMAR は、TANGO FLNG 賃貸契約（2020 年 6 月 25 日発表の通り）紛争に関して、YPF との和解に達したことを 2020 年 10 月 19 日、発表した。

Golar LNG は、Hygo、Norsk Hydro が、2020 年 7 月 22 日付、ブラジル Alunorte アルミナ精製設備に LNG を供給する MOU を、打ち切ることで合意したことを 10 月 12 日、発表した。

HAM Group は、子会社 HAM Chile が、チリ初の LNG ステーションを、マウレ地域 Ruta Cinco Sur（チリのハイウェイ）近く、Transportes San Gabriel Linares の諸設備に立地するため、設計・建設・コミッショニング業務に、Lipigas により選定されたことを、2020 年 10 月 21 日、発表した。

参考資料: 各社発表, Reuters, Cedigaz News Report.

お問い合わせ: [report@tky.ieej.or.jp](mailto:report@tky.ieej.or.jp)